

地域計画

策定年月日	令和6年9月30日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	赤穂市 (28212)
地域名 (地域内農業集落名)	上高野地区 (上高野集落)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

地域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)		6.0	ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積		6.0	ha
② うち田の面積		6.0	ha
③ うち畑の面積(果樹、茶等を含む)		0.0	ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計		6.0	ha
⑤ 区域内において今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計		30.0	ha
(参考) 区域内における70歳以上の農業者の農地面積の合計		1.1	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計		0.3	ha
(備考) ⑤は、赤穂市内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。			

(2) 地域農業の現状と課題

<ul style="list-style-type: none"> ・農地の大半は、任意の営農組合が耕作しているものの、オペレーターの高齢化と人材不足が深刻化している。 ・担い手等耕作者が主体となって行っている水路、農道、畦畔等の管理をどのようにするかが課題。 ・地域の活性化を図るため新たな作物の導入や減農薬・減化学肥料への取組が課題。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<ul style="list-style-type: none"> ・水稻及びWCSを主要作物としつつ、市の振興作物である大豆の作付等を検討し収益の改善を図る。また、市、県と連携し高収益作物の導入や環境に配慮した減農薬、減化学肥料にも取り組むよう検討する。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
営農組合の維持が困難になった場合には速やかに担い手等への農地の集積・集約化を図り、農地バンクを活用した貸付を進めていく。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の利用集積率の目標			
現状の集積率	85.7	%	将来の目標とする集積率
			85.7 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積の団地数及び面積は、3箇所、2.0ha(令和5年度時点) 団地数は現状維持とする。(令和16年度目標 団地数3 1か所 2.0ha)			

※担い手は、認定農業者、認定新規就農者、集落営農、基本構想水準到達者とする。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためにとるべき必要な措置(必須項目)

(1)農用地の集積、集団化の取組
ほ場整備田の農地は全て営農組合又は担い手農家が借り受けており、集積・集約化が完成されている。
(2)農地中間管理機構の活用方法
営農組合での農地の管理が出来なくなった場合は、速やかに担い手に移行し、農地は出し手、受け手に関わらず、原則として農地中間管理事業を活用する。
(3)基盤整備事業への取組
担い手のニーズを踏まえ、農地中間管理機構関連農地整備事業を活用した用排水設備の再整備化について検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
将来的に耕作されない農地の発生に備え、地域内外から多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市、県、JAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合、農業サービス事業者等による農作業委託の取組
効率化が期待できる水稻育苗は、JAへの委託に努める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他
<p>①鳥獣被害防止対策の取組方針 鳥獣被害を最小限に抑えるため、防止柵の設置等の対策について、早期に集落全体で検討する。</p> <p>②有機・減農薬・減化学肥料農業の取組方針 収益性の向上を図るためにも堆肥の施用、減農薬・減化学肥料栽培に取り組む。</p> <p>⑦環境保全、農地の維持管理等の取組方針 地域住民・営農組合・耕作農家の三者が協力して農村環境、農地を守っていけるよう協議を継続していく。</p> <p>⑨耕畜連携 集落内で生産された飼料作物は、地域内の畜産農家に供給しつつ、家畜排泄由来堆肥は地域内の生産者に供給する仕組みを構築する。</p>				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業者	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
サ	A	水稻・WCS・野菜	0.0 ha	5.6 ha	水稻・WCS・野菜	0.0 ha	5.6 ha	A	B
認農	B	水稻	0.3 ha	0.0 ha	水稻	0.3 ha	0.0 ha	B	A
計	2経営体		0.3 ha	5.6 ha		0.3 ha	5.6 ha		

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	A	耕運、田植、施肥、収穫	水稲・WCS
2	C	耕運、田植、施肥、収穫、堆肥散布	水稲・WCS
3	兵庫西農業協同組合	育苗、農薬散布、乾燥調製	水稲
4			

6 目標地図(別添のとおり)

(留意事項)

農業を担う者の氏名等特定の個人が識別される情報が含まれることから、公表する場合やその他施策のために利用する場合等は、本人の同意を得る等個人情報の取扱いに留意してください。

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(%)	()%
-------------	--	-------------	------

